

大洲病院ニュース

OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院

編集：広報委員会

〒795-8501

大洲市西大洲甲570番地

TEL0893-24-2151

FAX0893-24-0036

4月より八幡浜・大洲圏域の広域救急を 毎週火曜日に大洲病院が担当します。

昨年4月より、各救急医療機関の医師負担軽減を図り、八幡浜・大洲圏域の二次救急医療体制を維持していくことを目的に、水曜日夜間を「加戸病院」、木曜日夜間を「市立八幡浜総合病院」で広域救急を担当していましたが、本年4月より、加戸病院に代わり、市立大洲病院が「火曜日夜間帯」で八幡浜圏域も含めた広域救急を担うこととしました。



4月からの大洲圏域（大洲市・内子町）における救急当番日は、下記のとおりです。皆様の適正な救急医療機関の利用をお願いします。

曜 日	【昼間帯】 午前8時30分～午後5時30分	【夜間帯】 午後5時30分～翌日午前8時30分
日曜日	大 洲 中 央 病 院	
月曜日	市 立 大 洲 病 院	
火曜日	市 立 大 洲 病 院	《夜間帯は八幡浜圏域も受け入れ》
水曜日	加 戸 病 院	
木曜日	神 南 診 療 所	市 立 八 幡 浜 総 合 病 院
金曜日	大 洲 中 央 病 院	
土曜日	大 洲 中 央 病 院	

※木曜日の夜間帯は、市立八幡浜総合病院が担当します。

※平日・土曜の午後8時～11時、日曜・祝日の午前9時～午後6時までの一次救急（軽症患者）については、「大洲喜多休日夜間急患センター」をご利用ください。

市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全・安心な医療を提供し、地域社会に貢献します。

〈第17号の主な内容〉

- 大洲病院が広域救急開始 1 P
- 救急病院の適正利用のお願い 2 P
- 使用料・手数料の改正 2 P
- 第2次病院改革プラン 3 P

- 今日からできる転倒予防対策 3 P
- 診療体制のお知らせ 4 P
- 地域の看護師不足緩和のために 4 P

市立大洲病院公式ホームページ

<http://www.shikoku.ne.jp/och/>

地域の救急医療を守るために 救急病院の適正な利用をお願いします

大洲喜多地区の救急医療は、休日夜間急患センター（初期救急）と輪番制・広域制による二次救急医療機関で実施しています。

本来、二次救急医療機関とは、入院治療を必要とする患者に対応する機関ですが、近年、『軽症患者への救急対応』により、重症患者に対する適切な医療行為が阻害されるなど、適切な救急対応が確保できない恐れが生じています。

特に救急医療機関での軽症患者の増加は、医師や医療スタッフの負担が増大し、その結果、医師などが退職し、残ったスタッフの負担が更に増すという悪循環に陥り、最終的には地域の救急医療の崩壊につながるという危険性を包含しています。

「かかりつけ医で診療時間内に受診する」「軽症等の場合は休日夜間急患センターを利用する」など、救急病院の適正な利用を心掛け、地域の皆様が当圏域の救急医療体制を守り存続させてください。よう、お願いいたします。

参考までに、大洲喜多地区とお隣の八幡浜地区の救急患者受け入れ状況（平成24年度上半期実績）を、右下のグラフのとおりお知らせします。



使用料・手散料を改正します

当院の個室使用料金及び診断書等の文書料金につきましては、病院移転改築（平成7年度）以来、見直し改正を行わず据え置いていました。

このたび、平成25年4月1日より使用料と手数料を下記のとおり改正させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○個室（病室）使用料

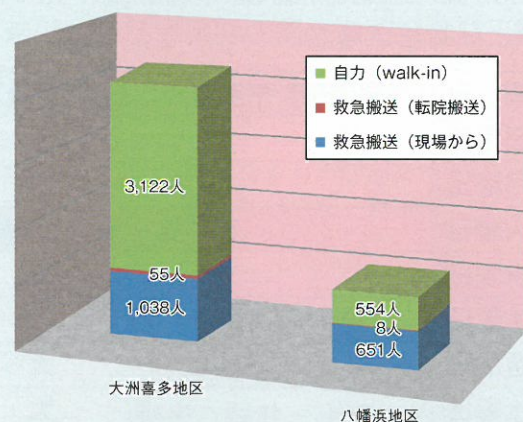
個室の病室に単独空調設備を設置することに伴い、使用料を改正するものです（未設置の室料は従来料金です）。

区 分	単 位	単独空調設備なし	単独空調設備あり
特別個室	1人1日		10,800円
個 室 1	1人1日	5,100円	5,600円
個 室 2	1人1日	3,570円	4,000円
個 室 3	1人1日	2,040円	2,400円

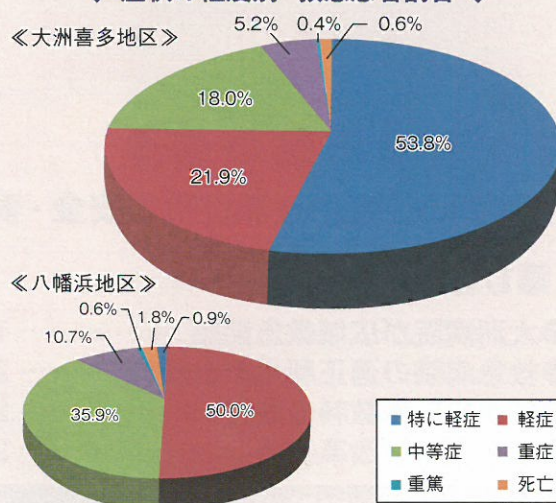
○診断書料（1通当たり）

文 書 名	手数料	文 書 名	手数料
医 療 費 証 明	530円	訴 訟 診 断 書	
簡 易 な 診 断 書	2,100円	恩 給 年 金 用 診 断 書	
普 通 診 断 書		保 険 会 社 用 診 断 書	
身 体 検 査 書	3,150円	身 体 障 害 者 手 帳 交 付 用 診 断 書	5,250円
健 康 診 断 書			
死 亡 診 断 書	3,150円	自 動 車 損 害 賠 償 保 険 用 診 断 書	
保 険 会 社 用 死 亡 診 断 書	5,250円		

◆ 来院形態別 救急患者数 ◆



◆ 症状の程度別 救急患者割合 ◆



第2次市立大洲病院改革プランを策定しました

大洲病院では、平成21年3月に平成24年度までを計画期間とした「病院改革プラン」を策定し、経営基盤の強化・継続に取り組んできました。しかし、医師不足など厳しい医療環境のもと、改革プランの目標である「黒字経営の維持」を達成することが困難となり、今後とも公立病院の使命を果たすためにも、健全経営に向けた継続した取り組みが不可欠なことから、後継計画として、平成25～29年度の5ヶ年間の計画期間とする「第2次市立大洲病院改革プラン」を新たに策定しました。

《第2次病院改革プランの概要》

◆ 策定目的

病院経営は、「医療の質の向上」と「健全経営」が両輪となって運営されるべきであり、両輪をバランス良く発展させていくことが重要です。

そのため、第2次改革プランは、地域の中核病院として地域医療連携を推進し、専門性の高い良質な医療サービスの提供に努めるとともに、健全経営を確保することを目的に策定します。

◆ 計画目標

ア) 地域医療の充実について

公立病院として政策医療を積極的に担い、適切な救急医療の提供に努めるとともに、地域医療機関との連携による適切な機能分担のもと、地域医療の確保・充実を図ります。

イ) 医療の質向上について

医療スタッフの充実、医療機器等の機能更新への投資、チーム医療の推進などにより、医療の安全を最大限に確保しつつ、医療の質の向上を図ります。

ウ) 経営の健全化について

病院経営にあつては、医師・看護師・医療技術員などの人的資源の投入や医療機器などへの投資が不可欠ですが、適切な費用負担による可能な限りの収益確保と積極的なコスト削減に取り組み、退職給与引当金の単年度純損益の黒字化と現金預金の維持増加を確保することにより、経営の健全化を目指します。

◆ 具体的な取り組み

1) 地域医療の充実に対する取り組み

- ◇ 地域の医療機関等との連携強化に努めます。
- ◇ 救急搬送からの受け入れを中心に救急医療を担います。
- ◇ 疾病予防事業の提供・啓蒙普及に努めます。
- ◇ 地震などに備え、適切な災害医療体制を構築します。

2) 医療の質向上に対する取り組み

- ◇ 在宅へとつながる外来医療看護の向上に努めます。
- ◇ 患者様中心の医療を実現するチーム医療を推進します。
- ◇ 医療安全の向上と院内感染の予防に努めます。
- ◇ 医療サービスや接遇の質を高め、患者様満足度向上を図るとともに安らぎのある快適な療養環境を整備します。

3) 収益確保への取り組み

- ◇ 将来の医師確保を目指した診療体制の充実を図ります。
- ◇ 診療報酬に的確に対応し診療単価の向上に努めます。
- ◇ 検査や治療の充実を図り、高度医療機器の稼働向上に努めます。
- ◇ 繰出基準に沿った一般会計繰入金金を確保します。

4) コスト削減への取り組み

- ◇ 医業収益に対する人件費割合の抑制に努めます。
- ◇ 材料費の抑制適正化を図るとともに、安全性・有効性を確保しつつジェネリック医薬品の採用を促進します。
- ◇ 外部委託を積極的に推進します。
- ◇ 過大な資本投下にならぬ計画的な機器購入に努めます。

～ 詳しくは病院ホームページをご覧ください ～



今日からできる転倒予防対策

当院では、年間を通して入院患者様の転倒予防にスタッフ一同細心の注意をはらっていますが、それでも転倒は起こっています。高齢化・薬の副作用などいろいろな背景があり、患者様・ご家族の方にもご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

さあ！今日から自宅でも無理なくできる筋力アップ、転倒予防のための運動を行ってみましょう（目安として1日2回、各20回ずつ、できる範囲で続けましょう）。

医療安全対策部より

寝たまま、足あげ



座って、ももあげ



立って、かかとあげ



膝を立てて、おしりあげ



座って、膝のばし



スクワット(つかまってかがむ)



診療体制のお知らせ

診療科／曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	1 診	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口
	2 診	中 西	中 西	徳本(肝臓外来) (第2,4,5)	中 西	
	3 診	今 峰	清 水	今 峰	清 水	今 峰
神経内科	1 診	休 診	休 診	休 診	岩城(月2回)	休 診
外科	1 診	李	李	手術日 (予約のみ)	李	土 居
	予約・検診	土 居	土 居		土 居	李
整形外科 ※初診は、 午前10時30分から 診療開始	初 診	間 崎	間 崎	田 口	手術日 (休 診)	田 口
	再 診	田 口	田 口	間 崎		間 崎
泌尿器科 ※6	1 診	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武
	2 診	佐藤秀	佐藤秀	佐藤秀	沢 田	佐藤秀
眼科 受付午前10時30分まで	1 診	休 診	愛大医師	休 診	休 診	愛大医師
耳鼻咽喉科	1 診	田 口	休 診	西 田	休 診	勢 井
皮膚科	1 診	休 診	増 田	佐 山	休 診	花 川

※1 診療受付時間は、午前8時15分から午前11時30分までです。

※2 緊急手術等により受付時間を繰り上げる場合があります。

※3 休診日は、土曜、日曜、祝日および年末年始です。

※4 担当医師の変更、休診の場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。

※5 整形外科の毎月第二火曜日は、愛媛大学 三浦教授による膝専門外来があります。

※6 泌尿器科の診療時間は透析・入院患者様対応のため、1診は9時45分、2診は10時45分からの診療開始となります。

※皮膚科の診療が4月より「火・木・金曜」から「火・水・金曜」に変更となりますので、ご注意ください。

市立大洲病院 ☎0893-24-2151

地域の看護師不足緩和のために

2月23日(土)『地域看護の今後はどうなるの？特別記念講演および地元病院の看護への取り組み』に参加しました。これはNPO法人「能力活用ネットワーク」主催、「ナースそれいゆ」共催の南予地域の看護師不足緩和のための企画で、参加者は南予地域在住の中学生、高校生、看護学生、潜在看護師の方々が対象でした。

当日は記念講演のほか、西予市立野村病院、南愛媛病院、宇和島徳州会病院と当院の4病院の病院紹介がありました。当院は看護部長をはじめ事務部、看護部6名と大洲市のゆるキャラ「O級くん」も参加して病院の活動や看護師の一日を紹介してきました。終了後のアンケート結果でも当院への興味・関心の高さがうかがえました。



今回の企画で今後当院はじめ南予地域の看護師不足が解消される一助になればと思います。

今回の企画で今後当院はじめ南予地域の看護師不足が解消される一助になればと思います。

大洲喜多休日夜間急患センター
ご利用のお願い

急な発熱、感冒症状、軽度の腹痛、嘔吐、下痢、めまいなどの症状の場合は、「大洲喜多休日夜間急患センター」での受診をお願いします。

平日・土曜 午後8時～11時
日曜・祝日 午前9時～午後6時
☎23-1156

■普段から健康診断の積極的な受診に心がけ、「かかりつけ医」を持つようにしましょう。

■診療体制の整っている通常の診療時間内に受診しましょう(コンビニ受診をなくしましょう)。

■救急車の適切な利用に心がけましょう。